

札幌市下水道事業 中期経営プラン2015の実施状況

札幌市下水道事業中期経営プラン2015は、下水道ビジョン2020に基づき「安全で安心な市民生活の維持」、「環境に与える負荷の低減」、「健全で持続可能な経営」の3つの基本目標のもと、具体的な事業計画と財政計画を定めたものです。平成23年度（2011年度）から平成27年度（2015年度）までの5年間は、当プランに基づき計画的に事業を進めました。

事業計画の実施状況

■下水道施設の維持管理

「管路テレビカメラ調査延長」については、将来の老朽管の増加を想定し、テレビカメラ調査をより一層強化することとしたため、計画を上回りました。「管路修繕箇所数」は調査した結果、修繕を要する箇所が想定よりも少なかったことを受け、計画を下回りました。また、「設備修繕箇所数」は、点検の結果、修繕が必要な箇所が想定より多かったことから、計画を上回りました。

項目	H22年度末	H27年度末	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
			上段：プラン策定時の計画値 下段：H23～H26年度→決算、H27年度→見込み				
管路テレビカメラ調査延長 5年間の管路のテレビカメラ調査延長	99km (H18-H22)	390km (H23-H27)	20km	90km	190km	290km	390km
			21km	117km	257km	372km	472km
管路修繕箇所数 5年間の管路の修繕箇所数	5,114か所 (H18-H22)	10,000か所 (H23-H27)	945か所	2,875か所	5,405か所	7,935か所	10,465か所
			1,151か所	2,455か所	4,196か所	5,655か所	7,526か所
設備修繕箇所数 5年間の機械・電気設備の修繕箇所数	600か所 (H18-H22)	800か所 (H23-H27)	100か所	240か所	420か所	600か所	800か所
			137か所	293か所	485か所	665か所	870か所

■下水道施設の改築・再構築

詳細調査の結果をもとに劣化状況の分析を行い、調査により判明した改築必要管路の老朽度をランク付けし、緊急性の高い管路から順次改築を進めた結果、「管路改築延長」は計画を上回りました。また、「汚泥処理集中化率」は計画どおり事業を進めたことにより、平成24年度末で全ての汚泥処理（定山溪処理区を除く）の集中化が完了しました。

項目	H22年度末	H27年度末	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
			上段：プラン策定時の計画値 下段：H23～H26年度→決算、H27年度→見込み				
管路改築延長 老朽管路及び軟弱地盤地区における管路の改築延長	90km	120km	96km	102km	108km	114km	120km
			96km	103km	115km	123km	133km
汚泥処理集中化率 汚泥の総発生量のうち、東西スラッジセンターで集中処理をしている汚泥量の割合	88.1%	99.6%	88.1%	95.1%	99.6%	99.6%	99.6%
			88.1%	95.1%	99.6%	99.6%	99.6%

■雨水対策

雨水拡充管や豊平川雨水貯留管の整備を進め、雨水対策を強化した結果、「雨水拡充管整備延長」及び「都市浸水対策達成率」の実績は計画を上回りました。

項目	H22年度末	H27年度末	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
			上段：プラン策定時の計画値 下段：H23～H26年度→決算、H27年度→見込み				
雨水拡充管整備延長 雨水拡充管路の整備延長	188km	193km	190km	192km	193km	193km	193km
			190km	193km	195km	196km	198km
都市浸水対策達成率 都市浸水対策の対象面積のうち、整備が完了した面積の割合	86.8%	87.8%	87.2%	87.5%	87.8%	87.8%	87.8%
			87.2%	87.5%	87.8%	88.0%	88.7%

■地震対策

「幹線管路のマンホール耐震化」については、予定していた受注が得られず、一部を先送りした結果、計画箇所数を下回りました。「水再生プラザ（管理棟）の耐震化率」は整備を全て完了しています。「圧送管バックアップシステム整備率」については、施工費の上昇などにより、一部事業を先送りしたため、計画を下回りました。

項目	H22年度末	H27年度末	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
			上段：プラン策定時の計画値 下段：H23～H26年度⇒決算、H27年度⇒見込み				
幹線管路のマンホール耐震化 耐震化を実施したマンホールの数	27か所	102か所	42か所	57か所	72か所	87か所	102か所
			42か所	52か所	52か所	60か所	77か所
水再生プラザ(管理棟)の耐震化率 耐震化が必要な水再生プラザの管理棟(7か所)のうち、整備が完了した施設の割合	57%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
			100%	100%	100%	100%	100%
圧送管バックアップシステム整備率 整備計画延長のうち、整備が完了した延長の割合	59%	91%	60%	65%	74%	84%	91%
			60%	65%	70%	79%	84%

■合流式下水道の改善

「合流式下水道対策率」については計画どおりに進んでいます。「スクリーン※施設設置率」については、一部の吐口で既に設置しているスクリーンの能力が基準値を満たすことが判明し、その分を対策必要箇所数から減らすこととしたため、計画を上回りました。

項目	H22年度末	H27年度末	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
			上段：プラン策定時の計画値 下段：H23～H26年度⇒決算、H27年度⇒見込み				
合流式下水道対策率 合流式区域のうち、法令基準を守るよう対策した区域の割合	33%	70%	33%	33%	52%	52%	70%
			33%	33%	33%	52%	70%
スクリーン施設設置率 合流式の吐口のうち、きょう雑物対策を実施した吐口の割合	34%	69%	43%	50%	60%	67%	69%
			43%	50%	88%	88%	100%

■処理の高度化の推進

水再生プラザなどの運転管理・水質管理を的確に行った結果、「環境基準達成率」については概ね計画どおりに達成率を維持しており、「目標放流水質」についても基準を満たす水質を維持し続けています。

項目	H22年度末	H27年度末	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
			上段：プラン策定時の計画値 下段：H23～H26年度⇒決算、H27年度⇒見込み				
環境基準達成率 河川の水質環境基準を達成した基準点の割合	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%
			80%	80%	80%	60%	—
目標放流水質(BOD) 水再生プラザの放流水質(10施設の単純平均)	7.8mg/L	7.8mg/L	7.8mg/L	7.8mg/L	7.8mg/L	7.8mg/L	7.8mg/L
			4.3mg/L	4.5mg/L	4.6mg/L	4.9mg/L	—

■地球温暖化対策

「札幌市下水道事業における地球温暖化対策推進計画（平成24年（2012年）2月策定）」に基づき計画的に進めており、概ね目標を達成できる見込みです。

項目	H22年度末	H27年度末	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
			上段：プラン策定時の計画値 下段：H23～H26年度⇒決算、H27年度⇒見込み				
エネルギー消費量削減率 下水道事業で消費するエネルギー量の削減率(H21基準毎年平均1%削減)	—	6%	—	—	—	—	6%
			—	—	—	—	—

■下水道資源の有効利用

セメント原料や改良埋戻材など、汚泥のリサイクル率100%を維持し、下水汚泥の有効利用を継続しています。

項目	H22年度末	H27年度末	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
			上段：プラン策定時の計画値 下段：H23～H26年度⇒決算、H27年度⇒見込み				
下水汚泥リサイクル率 汚泥の総発生量のうち、リサイクルされている汚泥量の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
			100%	100%	100%	100%	100%

財政計画の実施状況

■安定した経営のための基盤強化

1 財務体質の強化

計画事業費の範囲内で必要な事業を執行するとともに、厚別コンポスト事業の廃止、汚泥処理の集中化、厚別水再生プラザの運転管理委託を実施し、効率的・効果的な事業運営に努めました。

2 人材の育成

基礎的な研修や経験年数に応じた実習研修などによる職員の技術・知識の維持向上、実務発表会などでの情報共有による組織力の向上に努めました。また、災害発生を想定した災害対策本部訓練を新たに実施し、災害対応能力の向上を図りました。

■財政計画の進捗状況

当初見込みと比較して、下水道使用料収入の増加や、企業債の支払利息の減少に加え、経営の効率化を進めたことなどにより、累積資金残高は計画に対して好転しました。

項目	H23年度			H24年度			H25年度			H26年度			H27年度		
	計画値	実績値	増減	計画値	実績値	増減	計画値	実績値	増減	計画値	実績値	増減	計画値	予算値	増減
A 収益的収入	413	413	0	414	412	▲2	413	414	0	411	537	126	417	534	117
下水道使用料	204	205	1	203	205	2	203	208	4	203	209	6	202	208	5
一般会計繰入金	205	204	▲1	207	203	▲3	206	202	▲4	205	203	▲1	212	203	▲8
長期前受金戻入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	120	—	120	120
その他	4	3	0	4	4	0	4	4	0	3	4	0	3	4	0
B 収益的支出	414	406	▲8	415	404	▲10	412	404	▲7	408	534	126	407	499	92
維持管理費	158	153	▲5	163	155	▲8	164	159	▲5	164	159	▲6	166	179	13
減価償却費	172	170	▲2	172	172	0	172	172	1	172	253	81	171	255	83
企業債支払利息	77	76	▲1	73	71	▲2	70	67	▲3	66	63	▲2	63	57	▲5
その他	7	6	0	7	6	▲1	7	6	0	7	58	52	6	8	2
C 収益的収支差引(A-B)	▲1	6	8	▲1	8	9	2	9	8	3	3	0	11	35	25
D 資本的収入	157	145	▲12	147	142	▲5	152	160	9	147	162	15	157	189	32
企業債の発行	101	96	▲6	94	93	▲1	97	100	3	93	105	12	105	124	19
国庫交付金	39	35	▲5	38	35	▲3	37	44	8	36	40	4	36	44	9
一般会計繰入金	10	9	▲2	10	7	▲3	10	7	▲3	10	7	▲3	10	9	▲1
その他	6	6	0	6	7	1	8	9	1	8	10	3	6	12	6
E 資本的支出	339	325	▲14	328	321	▲7	336	345	9	329	345	16	361	385	24
建設事業費	147	134	▲13	144	138	▲6	145	154	9	146	162	16	145	169	23
企業債元金償還金	191	191	0	183	183	0	190	190	0	182	182	0	214	214	0
その他	1	0	▲1	1	0	▲1	1	1	0	1	0	▲1	1	2	1
F 資本的収支差引(D-E)	▲182	▲180	2	▲181	▲179	2	▲185	▲184	0	▲182	▲182	0	▲204	▲196	9
G 補てん財源など(減価償却費など)	176	174	▲2	175	175	0	175	176	1	175	185	10	174	140	▲34
H 当年度末資金収支(C+F+G)	▲7	▲1	6	▲6	4	11	▲8	1	9	▲4	5	9	▲19	▲20	▲1
I 累積資金残高	51	58	7	45	62	18	37	64	27	32	69	37	13	49	36
J 企業債元利償還金	268	267	▲1	256	254	▲2	260	257	▲3	248	246	▲2	277	272	▲6
K 企業債未償還残高	2,994	2,988	▲6	2,905	2,898	▲7	2,811	2,808	▲3	2,722	2,730	8	2,612	2,640	28

(注) 四捨五入の関係上、合計が一致しない項目があります。

(注) 平成26年度より会計制度の見直しがあり、計画値と実績値で数値が大きく乖離している部分があります。

札幌市下水道事業中期経営プラン2020は、現行の経営プラン（平成23年度から平成27年度まで）の実施状況や下水道事業を取り巻く環境の変化などを踏まえて策定しました。



コラム
⑦

下水道事業の広報



市民の皆さまが快適に暮らすためになくならない下水道の役割について普及・啓発を目的として、さまざまな広報イベントを実施しました。

下水道事業パネル展

(平成24年度～平成27年度)

9月10日の「下水道の日」関連行事として、下水道の役割や仕組みについて普及・啓発するため、札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）にてパネル展示や、トークイベントを実施しました。



下水道事業パネル展

豊平川雨水貯留管見学会 (平成26年度)

供用開始後は見学することができない豊平川雨水貯留管内を約4km歩くイベントを開催しました。直径約4mの巨大な下水道管を実際に見て触れて体感していただきました。同イベントは平成27年度GKP広報大賞の審査員特別賞を受賞しました。



豊平川雨水貯留管見学会



GKP 広報大賞 授賞式

こどものまち「ミニさっぽろ」

(平成27年度)

子どもたちが職業体験や消費体験を通して社会の仕組みを学んでいくイベントである、こどものまち「ミニさっぽろ2015」に、下水道の水質管理をテーマに出展しました。

多くの子どもたちに参加していただき、水質試験や微生物の観察などを通して水がきれいになる仕組みを学んでいただきました。



こどものまち「ミニさっぽろ」